

危機の構造

— ひととは危機をどう乗り越えるのか —

ひとは危機的な状況に置かれた中で、いかに困難を抱えた方を支え、強みを発揮させることができるでしょうか。その中で自殺行動はどのように防ぐことができるのでしょうか。精神科医の張賢徳さん、国内外のさまざまな事象や事件の現場で取材されてきたノンフィクション作家の石井光太さんをお迎えして、これらの背景にある複雑さについてお話いただきます。そして、それらの解決に向けて、社会がどのような視点で何に取り組むかについて問題提議していただき、指定発言者や来場者とのディスカッションの中で深めていきます。皆さまのご来場をお待ちしております。

第1部 「ゲートキーパー講座」

講師／張 賢徳 氏
(帝京大学附属溝口病院 精神神経科 教授)

第2部 「危機の構造 —ひととは危機をどう乗り越えるのか—」

講師／石井 光太 氏 (ノンフィクション作家)

平成28年 10/1 **土**

13:00～17:00 (開場12:30)

高津市民館 大会議室 ノクティ2 12階

■お問い合わせ 川崎いのちの電話事務局 ☎044-722-7121
川崎市精神保健福祉センター ☎044-200-3195

※感染症や天災などの理由により、やむなく開催を中止する場合がございますので、予めご了承ください。

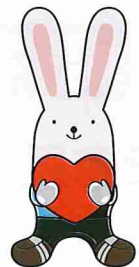
共催：社会福祉法人川崎いのちの電話／川崎市 後援：かながわ自殺対策会議



健康セミナー
このころの

「あなたにも知ってほしい。
生きたいというきもち。」

先着300名
事前申込み不要
参加費無料



川崎市自殺対策推進キャラクター
「うさびー」

「気づいてください！ 体と心の限界サイン」

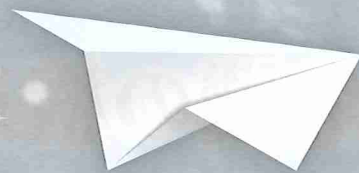
九都県市「自殺対策キャンペーン」統一標語

首都圏の住民は、通勤・通学等のため都県市を越えて活動していることから九都県市協働で広域的な自殺対策に取り組んでいます

埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市

自殺予防・全国69精神保健福祉センター共同キャンペーン

セミナー講師プロフィール



張 賢徳氏

(帝京大学附属溝口病院 精神神経科 教授)

1991年東京大学医学部卒業後、帝京大学医学部附属市原病院・本院にて臨床研修に従事。1997年英国ケンブリッジ大学臨床医学系精神医学博士号取得。現在同大学医学部溝口病院精神神経科教授。
専門は精神医学と自殺学で、自殺と精神障害の関係について研究している。



石井 光太氏 (ノンフィクション作家)

1977年東京都生まれ。作家。国内外の貧困、災害、歴史、事件などのノンフィクションを幅広く執筆。主な作品に『物乞う仏陀』『絶対貧困』『遺体』『浮浪児1945ー』などがある。また、小説や児童書の執筆も多数。

本講演に類するテーマとして、現在『新潮45』の不定期連載「シリーズ 奈落の子供」、『潮』の連載「アナザー・チャイルド」、『EX大衆』の連載「近親殺人者」を執筆中。(いずれも2017年以降に単行本化の予定)

最新刊に、ネグレクト、幼児殺人、虐待事件を扱った事件ノンフィクション『「鬼畜」の家～わが子を殺す親たち』(新潮社)がある。本書では、厚木市の齋藤理玖君ネグレクト死事件、下田市の幼児連続殺害事件、足立区のウサギケージ監禁虐待死事件を扱っている。

川崎市地域包括ケアシステムについて

川崎市では、高齢者、障害者、子ども、子育て中の親、現時点でケアの必要がない方など、全ての地域住民を対象とした地域包括ケアシステムの構築を目指します。

会場案内

高津市民館 大会議室

〒213-0001 川崎市高津区溝ノ口1-4-1
ノクティ2 12階



- JR南武線 武蔵溝ノ口駅から徒歩3分
 - 東急田園都市線・大井町線 溝の口駅から徒歩4分
- 電車でお越しの方は、歩行者用デッキからエレベーターをご利用ください。

土日祝日は周辺道路が大変混み合います。
できるだけ公共交通機関をご利用ください。

